

## 丹波市音頭選定に関して

### 《 講 評 》

この作品の特色として二つの点があげられます。作者自身の説明を引用しますと、一つ目は、「1番から6番にかけて丹波6町それぞれの名所や特産を織り込みながら季節が春～夏～秋～冬へと変化するように作りました。」という点です。二つ目は、「1番・2番で仄かな恋心を描いてそれが3番・4番では逢瀬を重ねるように発展し5番・6番でめでたく結ばれるというちょっとしたラブストーリーも織り交ぜてみました。」という点です。

一つ目の特色の中では、春夏秋冬の変化を読み込んだという点が優れています。丹波6町の名所や特産物などは、応募作品の多くが詠んでいましたが、それらを1年間の季節の変化という風に配列したものはなかったと思います。二つ目の特色、仄かな恋が芽生え発展し二人が結ばれるという豊かな物語性は、1番から6番までを緊密に、有機的につなぎ、構成を隙のないものにしています。

加えて、各場面を描く言葉は洗練されていて浪漫的なイメージを喚起させています。出色の出来栄えと言っていいでしょう。

(丹波市音頭制作委員会)